

釣塔大学新聞

お手柄！ 新聞部員が女の子を助ける

「人として当然のことをしたまで」

釣塔大学新聞部の池田性旭が市内某所のショッピングセンターを訪れたところ、泣き叫んでいる四歳くらいの女の子を見つけた。この女の子は、家族でショッピングセンターに買い物をしてきたのだが、途中で親とはぐれてしまったという。池田は女の子と一緒に親を捜し歩き、三時間ほどで無事女の子を親もとに戻すことができた。女の子は「お母さんを探してる途中にのどが渴いたって言ったからおにいちやんがミルクをくれたんだよ。ちよつと苦かったけど全部飲んでって言われたからちやんと飲んだよ」と無邪気に話した。池田は

水鳥

食堂

レストラン Mizutori

シクロドン : 630円
シバランチ : 500円
安価定食 : 時価

他にも多数メニュー有

「人として当然のことをしたまでだ。」
とうれしそうに話した。

かについて、勝村は黙秘を続けている。

この微生物を開発した研究室の高沢春海教授は「このようなことが起きてしまい残念だ。勝村には早く真相を話してもらいたい。」と話している。

この SNGY は人間が摂取した場合どのようなことが起こるか分からないので、ウイルス総合研究所は摂取しないように注意を呼び掛けている。

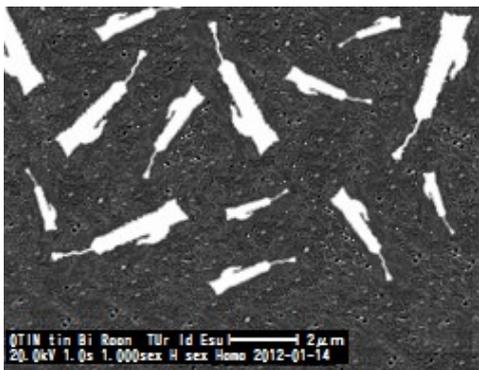
急募！ 看板表示の子鯖提供者

- 誰にでも出来る簡単なお仕事です。
 - 年齢・経験一切不問。
 - 詳細は「さて、ラウンジにも看板を。」まで。
- さて、ラウンジにも看板を。
<http://ex.2ch.net/test/read.cgi/entrance/105592598/>

イマキタの発生原因特定か

先週発見された新種の魚「イマキタ」の発生原因が判明した。なんとその原因は、医学部と軍事学が共同で開発していた微生物だった。この微生物は研究室では SNGY と呼ばれており、この微生物を体内に取り込むと生殖活動に変化を及ぼし、通常ではありえない組み合わせの生物が交尾を行うことができるようになるものだという。この微生物の培養にはさまざまな化学薬品が使われており、金庫に保管されなければならないものだった。

右：SNGYの電子顕微鏡写真
協力 ウイルス総合研究所



修羅薔薇裏腹 ムラムラドラキュラ

り堀で釣りをしてる最中に、誤って釣り堀に落ちてしまったことだといわれている。持ち出し厳禁のはずの SNGY を試験管に入れて持ち出していたの

露草留紺流

釣塔大学五十周年の今年、五十周年記念祭が企画されている。詳細は大学からの発表を待つしかないが、手元にある事前情報を公開しよう。記念祭では、体育連合会によるレクリエーションや文化連合会による文化発表会などを行うとの案が水面下で進行しており、サークルに所属している方々には期待することにしよう。また、五十周年記念のキーホルダーなども製作、発売されるようだ。これらのように塔大五十周年は盛大に祝される模様であり、大学関係者や一般の方からも関心が高まっているようだ。

最後に、五十周年記念祭について釣塔会体育連合会、文化連合会の各会長、および学長にコメントを頂いた。以下、コメント。体育連合会会長 石田銀河さん「塔大生はもちろん、保護者の人達とかにも記憶に残る楽しい記念祭にしますので、よろしくお願います。」文化連合会会長 一院のかさん「文化発表会は素晴らしいものにしたと思います。皆様にとっても私達にとっても良き行事だと思えます。」学長アルフレード・ガッチャピン氏「私がいるからには何の心配もありませんよ。任せておきなさい。」